

がん患者サロン活動の現状と課題

姫路市・だいとうクリニック 吉田 真紀（看護師）

当院は1986年に開院し、在宅療養支援、在宅緩和ケアに取り組んでいる。がん患者支援として、がん患者会「あじさい会」や遺族の集い「ひまわりの会」の活動を支援している。

がん患者や家族同士の交流を目的としたがん患者サロン「花みずき」は、2011年8月より、開催してきた。毎月第3火曜日の午後2時半から約2時間開催している。がんサロンの前に、絵手紙教室やタオルぼうしの会の活動もしている。

がんサロンは、看護師が司会進行をし、医師、ボランティア、時には薬剤師や医療事務が加わる。がん患者さんやそのご家族の方々と、病気についての不安や疑問など、語り合う。同じ境遇・経験をされた方と、悩みをわかちあうことができる。自身の経験を踏まえてアドバイスをしたり、傾聴したりと、思いに寄り添っていく。

がんサロンは、毎回、話題がさまざまである。進行役をしていて、時間配分や内容がよかったか、心配であった。参加者の意見をきき、今後の運営や時間配分を、検討することができたので報告する。